



よこすか浦賀病院広報誌

よこすらいふ

~LIFE~



夏

2024

VOLUME 02 | ISSUE 2024



脳神経外科・鈴木祥生医師よりご挨拶

6月1日付けで新たに常勤医として赴任しました、脳神経外科の鈴木祥生（すずきさちお）と申します。頭痛・めまい・手足のしびれや力が入らない・呂律が回らない・頭をぶつけたなどの症状に対応します。

また、同時に「もの忘れ外来」を新設していますので、最近もの忘れが気になる方は、お気軽にご相談ください。地域の皆さんに寄り添う診療を心掛けます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

鈴木医師の「脳神経外科」および「もの忘れ外来」は、火曜日・金曜日の午前、診療がごございます。気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。

・鈴木祥生 医師：よこすか浦賀病院 脳神経外科部長、専門分野は脳神経外科・認知症。国立山梨医科大学医学部出身。趣味は、野球観戦、旅行、川釣り。

8/17(土) 鈴木医師による地域医療公開講座を開催いたします！

街角ミニドックと同時開催になります。是非、遊びに来てくださいね♪

8/17(土)午後は、シャトルバスが運休となりますので公共交通機関をご利用ください。

タイトル：『認知症を予防しよう！』

- ・日時：8/17(土) 14：00～15：00（よこすか浦賀病院、2階ラウンジにて）
- ・講師：脳神経外科部長 鈴木祥生 医師

当日は併せて『～よこすか浦賀病院記念イベント～街角ミニドックすべしやる』が15：00～17：00に開催されます！雨天決行！
★被災地へ想いを届けるチャリティーバザーもあります！★



予約制



地域医療公開講座

街角ミニドック開催します！

☎046-841-0922

平日10：00～16：00

よこすか浦賀病院の病院食



今回も、よこすか浦賀病院の病院食をご紹介します。七夕当日に「天の川をイメージしたそうめん」や「夏野菜の盛り合わせ」など季節を感じるランチメニューを管理栄養士の方々が考えてくれました！

そうめんは、今でも宮城県仙台市で400年の伝統を持つ「仙台七夕祭り」で定番の食べ物と言われているそうです。

院内には、患者様の願いが込められた短冊も飾られており、皆様が早く元気になりますよう、職員も願いを込めました。

浜町の虎踊りを拝見させていただきました！

西浦賀・浜町に300年伝わる民族芸能『虎踊り』が、6月8日(土)為朝神社で奉納舞として披露されました。

300年続く伝統ということで、よこすか浦賀病院も地域のことを学ばせていただくべく、虎踊りを拝見させていただきました。演者の皆様の熱い思いが伝わるとも迫力のある貴重な体験をさせていただきました。浜町町内会の皆様、ありがとうございました！





眼科手術件数年間524件！ 眼科・栗原大智医師にインタビュー



Q：白内障・緑内障について教えてください。

白内障は、目の中にある水晶体というレンズが白く濁ってしまう状態で、白内障が進行すると光が奥に十分に届かなくなります。その結果、かすみやまぶしさ、視力が下がるといった症状が出ます。80歳を超えると白内障は全員に存在するとされています。点眼薬では進行を抑えることはできないため、白内障手術を行います。一方、緑内障は目の奥にある視神経が障害されることで、視野の一部が欠けてしまう病気です。40歳以上の20人に1人は緑内障があるとされ、日本での成人の失明原因の1位となっています。緑内障は完治させる方法が無く、点眼薬や手術によって進行を抑える治療を行います。

・栗原大智（くりはらだいち）医師

Q：手術前後での生活スタイルの変化について教えてください。

白内障手術や緑内障手術ではその準備として、手術3日前から抗菌薬の点眼薬を使います。しかし、それ以外には手術前の日常生活の制限はありません。手術後はさまざまな日常生活の制限があります。例えば、手術によって眼にできた傷口から細菌が入るため、術後1週間は洗顔や洗髪を行うことができません。特に、洗顔や洗髪によって眼に入る水滴は、ゴミやほこり、細菌が多く含まれます。細菌が眼に入ると細菌性眼内炎という合併症が生じる可能性が上がり、追加手術や予定通りの視力が出ないこともあります。その他にも、重たい物を持ち上げる、白髪染め、電動シェーバーなども一定期間の制限があります。これら日常生活の制限は、患者様の状態に応じて異なる場合があります。手術を行っている眼科医に相談するようにしましょう。

Q：不安や恐怖心で、なかなか目の手術に踏み込めない方へ栗原先生がお伝えしたいことはありますか。

眼の手術は局所麻酔で行うため意識があります。そのためか、「目の前で鋭利な物が動くことが怖い」「目の痛みがあるか心配だ」という声を聞きますし、緊張されて力が入っている方も少なくありません。しかし、手術中に意識があるからこそ、痛みが出ないように十分な麻酔を行います。そうして手術を受けられると、「想像よりも痛くなかった」「思っていたより楽だった」という声も聞きます。慣れていない手術だからこそ不安を感じると思いますが、当院ではできる限りその不安を取り除けるよう、「痛みがないか」など声がけを行いながら手術を行っています。

Q：白内障・緑内障の手術を受けたほうが良いタイミングや症状を教えてください。

白内障手術の手術適応は大きく3つ挙げられます。
①矯正視力（眼鏡で調整した視力）が0.7を下回る
②矯正視力が出ていても、まぶしさやかすみなど自覚症状が強い
③眼科医から見て、緊急性の高い症例（浅前房、緑内障発作眼）
当院ではこれらのうち、いずれかが当てはまれば白内障手術をご案内しています。

一方、緑内障手術も大きく3つの手術適応が挙げられます。
①緑内障の点眼薬によって十分な眼圧下降が得られない
②緑内障の点眼薬による副作用が強い、指示された使用回数が守れない
③視野の悪化が著しい
これらのうち、いずれかでも当てはまれば緑内障手術をご提案しています。しかし、緑内障手術にはメリット・デメリットがあり、それらを享受できるかは患者様によって異なります。「どれかに当てはまる」と感じた場合は、お気軽にご相談ください。

その他、当院では眼瞼下垂手術や翼状片手術、硝子体内注射など、さまざまな手術を行っています。当院では日帰り手術はもちろん、入院施設もありますので、足腰や通院に不安がある方も安心して手術を行って頂けます。

Q：白内障・緑内障の他に気を付けたい目の病気や症状はありますか。

白内障や緑内障の他にもさまざまな目の病気があります。これらの病気以外にも、成人の失明原因の上位には、加齢黄斑変性症や糖尿病網膜症などがあります。加齢黄斑変性症は、視力低下だけでなく、直線の一部がゆがんで見えたり、視野の中心が暗く見えたりします。糖尿病網膜症は糖尿病のみに見られる目の病気であるにも関わらず、失明原因の上位に位置しています。そのため、糖尿病と診断された方は定期的な眼科受診が推奨されています。糖尿病網膜症では加齢黄斑変性症と似た症状を認めます。いずれも治療によって視力改善が期待できます。当てはまる症状があれば眼科を受診されることを推奨します。

LINE Instagram Facebook X

よこすか浦賀病院各SNSをチェック♪

